

## 板橋区立小中学校不登校児童生徒増加対策プロジェクトチーム（PT）活動報告について

### 1 趣旨

板橋区立小中学校における不登校児童生徒数が増加傾向にあることと、コロナウイルス感染防止対策としての学校休業後にはさらにその数が増加することを想定し、不登校児童生徒対策として、

- 1 不登校にならないようにする事前の働きかけをする「教育的予防」
- 2 不登校をおこしそうな児童生徒を念頭において行う「治療的予防」（不登校児童生徒のための新たな居場所づくりも含む）

について検討し、アウトリーチ対策も含め、実質的・具体的な戦略を構築し、不登校児童生徒対策を教育委員会が一体となって実施するために、プロジェクトチーム（PT）を立ち上げる。

### 2 PTメンバー 7名（PT長 教育支援センター 所長 平沢 安正）

教育委員会事務局各課より1名（教育総務課、学務課、地域教育力推進課、指導室、生涯学習課、教育支援センター）

### 3 活動状況

- 第1回 4月21日（火）…PT趣旨共有、業務分担 等
- 第2回 4月28日（火）…不登校実態調査の情報共有 等
- 第3回 5月12日（火）…調査結果の共有、拡大PTの検討 等
- 第4回 5月19日（火）…PT協働対策事業検討、アウトリーチ事業の検討 等
- 第5回 5月26日（火）…学習支援事業の状況共有、学校再開後の対応の共有 等
- 第6回 6月2日（火）…学校再開後の情報共有、オンライン授業の検討 等
- 第7回 6月17日（水）…学校再開後の不登校状況把握 等
- 第8回 6月29日（月）…学校が関与できていない児童生徒の把握 等
- 第9回 7月7日（火）…不登校児童生徒への関与を目指したケース会議の検討 等

### 4 実施した事業

#### ア 令和元年度不登校児童生徒実態調査の実施（5月）

- ・令和2年1月及び2月に一度も学校に登校していない児童生徒数  
小学校47名 中学校94名

- ・昨年度末時点で、全く関係諸機関の支援を受けずに不登校状態である児童生徒数  
小学校 5名 中学校 8名

イ コロナ感染を恐れ登校することのできない児童生徒の調査（6月分散登校終了後）  
小学校 39名 中学校 3名（6月23日時点）

ウ 不登校（傾向）中学生対象進路説明会・個別相談会の開催

令和2年7月18日（土）午後2時から午後5時まで 参加者50名

**【内容】**

- ・適応指導教室担当教諭講話
- ・高等学校等からの学校紹介（都立高等学校、サポート校等）
- ・個別相談会

○参加者の声

- ・とても不安が大きかったのですが、実際に色々な学校のお話が伺えてよかったです。  
このような機会を作ってください、ありがとうございました。
- ・友達問題からこじれ不登校になり子供もいかなければと焦り、毎日が大変です。本日は大変参考となるお話を伺い希望が湧いてきました。 等 多数の肯定意見有

## 5 今後の活動予定

ア 教育委員会事務局としての今後の見解

不登校増加防止PTを中心に、教育委員会事務局各課を横断した取組を実施し情報共有を継続していくことで、支援を受けることができている児童・生徒への対応を迅速に図っていく。

必要に応じ、10月以降に主に中学校9年生を対象とした「高等学校個別相談会」の実施を検討し、進路に不安を抱える生徒に対する支援の継続実施を図る。

イ 成増生涯学習センター主催フォーラム「不登校を考える」の開催

令和2年9月20日（日）午後1時から午後4時まで 会場：まなぼーと成増

**【内容】**

「不登校の子ども権利宣言」（NPO法人東京シューレ作）の視聴

- ・不登校経験者の講話 等

ウ 分身ロボット「Orihime」の導入

「Orihime」とは、「移動の制約」を克服し、「教室に入る」ようなコミュニケーションを実現する。入院や不登校等により、教室にて教育を受ける機会を失わずに、誰もが等しく教育を受けることができるシステム。

不登校生徒支援として、NPO法人（ラーニングフォーオール）の協力を得て、令和2年8月中にフレンドセンターへ試行導入予定。